

公益財団法人 北海道移植医療推進財団

理事長 長野 実
副理事長 原田 浩
副理事長 嶋村 剛

「賛助会員入会」並びに「ご寄附」のお願い

謹啓 皆様にはいよいよご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は移植医療の推進につきまして、格別のご理解とご支援を賜り有難うございます。

皆様にはいよいよご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は移植医療の推進につきまして、格別のご理解とご支援を賜り有難うございます。

当財団は『臓器機能に障害のある人達が移植により、その機能を回復し健康な生活が送れるようにするため、移植医療についての知識の普及啓発と移植医療に係る各種機関の役割に応じた支援活動を行う。』を目的としています。

ここ数年におきます各種活動は、コロナ禍により中止又は延期せざるを得ない状況にありますが、当面はウィズコロナを意識し、道民の命を守るため関係者一同再出発の気持ちで移植医療の推進に貢献致したく思っています。

令和4年度は、日本臓器移植ネットワークの臓器提供あっせん業務・支援業務の他、角膜・皮膚・臍島・血管(心臓弁)移植等の業務を新規活動として取組む予定です。

財団では、移植医療・移植者・総務企画の3委員会が中心となり全道的視野のもと各種事業を企画立案、4つの本支部(道央、道北・道東・道南)と調整の上実施してまいります。

広大な北海道における当財団の体制は必須のものであり、日本臓器移植ネットワーク、北海道との連携強化を図り、事業展開を図りたく考えています。

財団の運営資金は、基本財産運用収入、自治体補助、関係各位のご賛助による会費、ご寄附によっていますが、近年の金融・経済・財政の諸情勢から基本財産運用収入、自治体補助、賛助会費、寄附金収入共に減少傾向にあります。財団の事業内容につきましては、「令和3年度事業報告」並びに「令和4年度事業計画」を参照願えれば幸いです。

つきましては、当財団の諸事情をご賢察のうえ、賛助会員又はご寄附によるご支援、ご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

皆様には、本広報誌をご覧頂き、当財団の活動(命をつなぐ運動)にご助力賜れば幸いです。未筆ながら、皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます。 謹白